

行政事業レビューシート (厚生労働省)

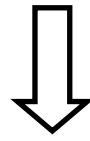
事業名	職業評価部門施設経費	担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度(開始)・終了年度未定	担当課室	高齢者雇用対策課	高齢者雇用対策課長			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	施策名	Ⅱ-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	障害者の雇用の促進に関する法律第19条第1項及び第2項、附則第2条第1項及び第2項、同法施行規則附則第1条の2及び第1条の2の2、雇用保険法第62条第1項第5号、第3項	関係する計画、通知等	障害者雇用対策基本方針(平成21年3月5日付け厚生労働省告示第55号)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の職業生活における自立を促進するための施設の設置及び運営その他障害者の雇用を支援するための業務等を行うことにより、障害者の職業の安定その他福祉の増進を図るとともに、経済及び社会の発展に寄与することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	①国立吉備高原障害者職業リハビリテーションセンターの土地借料 国が設置し、運営は独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が行っているところであり、引き続き設置及び運営を行う必要があることから、当該施設の設置及び運営に必要な土地の借受けを行うもの ② 国立職業リハビリテーションセンター庁舎等における改修工事等のための経費 アスベストの撤去工事を行うもの						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	6	15	10	11	26
		補正予算					
		繰越し等					
		計	6	15	10	11	26
		執行額	6	15	3		
	執行率(%)	100%	100%	33%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	事業概要が土地借料や改修工事のため、定量的な成果目標を設定することが困難である。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業概要が土地借料や改修工事のため、定量的な活動指標を設定することが困難である。	活動実績(当初見込み)				()	()
単位当たりコスト	事業概要が土地借料や改修工事のため、単位あたりコストを算定することが困難である。	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	土地建物借料	11	12	24年度において耐震改修工事及び空調等改修工事を行う予定のため。			
	施設整備費等	0	15				
計	11	26					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の必要性を精査し、必要不可欠な工事等についてのみ実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	職業評価部門施設経費概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省
3百万円

* 平成22年度実績



A 岡山県(土地所有者)
3百万円

(国立吉備高原職業リハビリテーショ
ンセンターに係る土地借料)

A.岡山県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
土地建物借料	国立吉備高原職業リハビリテーションセンターに係る土地借料	3			
計		3	計		0
B			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岡山県	国立吉備高原職業リハビリテーションセンターに係る土地借料	3	随意契約	